

発行元 日本SOD研究会 藤沢
住 所 〒154-0012
東京都世田谷区
駒沢 5-13-1-205
TEL. 03-5787-3498
<http://www.sod-jpn.org/>

**脳脊髄液減少症・
線維筋痛症・痛風・
頸椎症性脊髄症**

さらに交通事故、スポーツ外傷、転倒転落、出産などで上記の症状が出ている人も脳脊髄液減少症の

疑いがあります。

そんな脳脊髄液減少症の方から、この疾患にSODは効果があるのか、またどれくらい飲めばいいのかという質問をいただきました。

「この疾患は、SODが効く人と効かない人がいます。それは原因によるんです。外的な要因、交通事故や怪我などで漏れ出たりしている場合はSODを大量に飲むと効きます。しかし、脳脊髄液を作る力がない場合は効きません。1日に12包から15包、1ヶ月飲んでみてください。それで効果がなければ後者ですね。ブラッドパッチという治療法で7割はある程度改善されるようになりました。これは自分の血液を注入するので副作用はないのですが、炎症を誘発するので1ヶ月くらい痛みや発熱、吐き気に見舞われます。問題なのはその症状を軽減するためにステロイドを使用したりすること。ここでSODを多めに飲むのは有効ですね。しかし、線維筋痛症の患者

さんはブラッドパッチはやってはいけない。よけいに悪くなります」

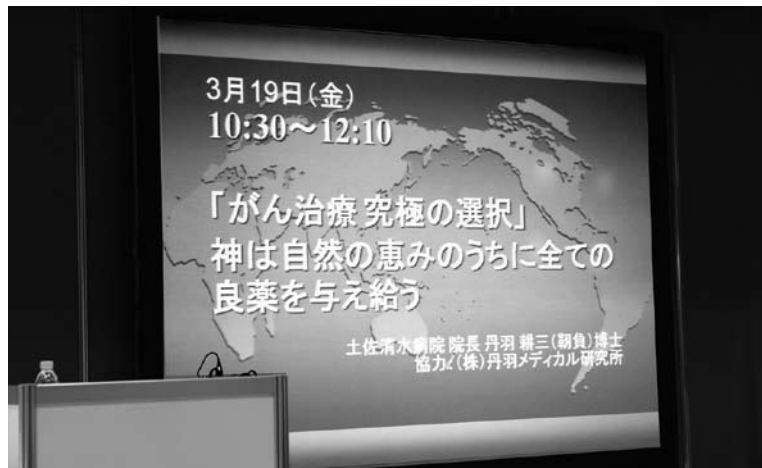
・・・・・・・・・・・・・・・・

その線維筋痛症ですが、実は、息子さんがその疾患に加え、B型肝炎、鬱病を併発したという方のご家族から質問をいただきました。その方はいろいろな病院を転々とし、様々な治療をしたのですが良くなり、自殺されたそうです。ご家族は最後にSODにいきつき、ひよっとしたらと思われたそうですが、息子さんは疑心暗鬼で何も受け付けない状態だったそうです。ご家族はその勘が正しかったかどうかを知りたいと、手紙を下さいました。

線維筋痛症とは、全身の広い範囲にわたって痛みを感じる病気です。リウマチに似ていますが、リウマチのような関節の腫れや変形はなく、一般の検査では目立った異常はみつけれないのが特徴です。直接、命に関わる病気ではありませんが、痛みのために日常生活

活や社会生活に支障をきたすこともあります。

あまり知られていない病気、日本ではようやく名前が知られたところ。なので医療関係者にも認知度が低く、なかなか診断が



つかなかったり、気のせい、なまけ病などで片付けられてしまうこともあります。原因や治療法なども不明されていない難病です。

中高年の女性に多く発症します

が、若い世代の発症もあり、最近では幼い子供の患者も見つかっていると言います。症状は、首から肩、背中や腰、おしりなどの体感部、太ももや膝、下肢などの痛みやしびれ、こわばり感、または目の奥や口腔の痛み、頭痛など、様々な痛みの症状があります。痛みの箇所や強さは人によって異なり、その箇所が移動することもあります。また、気候の変化や過労、ストレスなどでも痛みの度合いが強くなったりします。

体の痛み以外にも睡眠障害、疲労感、抑うつ感、不安感、便秘、下痢、腹痛、頻尿、膀胱炎など様々な症状を伴うこともあります。

お手紙を下さった方の息子さんも、鬱病になられ、さらにB型肝炎も患い、苦しまれたようです。

この線維筋痛症について先生に話を伺ってみました。

「この疾患は最近、よくあるんです。リウマチが筋肉にきたもので、すごく痛い。膠原病とも似ている難

病です。これにはSODは効きます。始めは12包から15包くらい飲み、改善されてきたら減らすと良いです。ストレス、環境汚染、寝不足、食生活の乱れなどが重なって、本当に難病が増えていきます。これからもっと増えるでしょうから、まずは日ごろからSODで予防しないです」

お手紙をくださった方への返答になっているかどうか分かりませんが、線維筋痛症という疾患にSODは有効ということでした。

・・・・・・・・・・・・・・・・

次にいただいたご質問は、痛風についてです。

痛風、文字通り、風が吹いても痛い病ということから病名がついたとされるこの病、ほとんどが男性に見られる疾患です。ストレスの多い職場で不規則な食生活を送っているのは男性だからでしょうか。医学的には、痛風の原因である尿酸の血液中濃度が女性は男性よりも低いからです。これは、

女性ホルモンに腎臓からの尿酸の排泄を促す働きがあるからです。

痛風は西洋では古代エジプトから発掘されたミイラの関節のなかに尿酸塩を発見したといえますから、紀元前からあった疾患と言えます



ます。ところが日本では明治以前にはなかった病気でした。安土桃山時代に日本を訪れたポルトガルの宣教師が日本には痛風がないと報告し、明治の始めに訪れたドイツ人医師も日本には痛風がないと

記録しています。その痛風が日本に現われたのは明治以降で、増えたのは戦後、1960年代に入ってからでした。現在は全国に数十万人の患者がいると推定されています。痛風は贅沢病とも言われ、飽食な食生活が原因のひとつです。明治以前は一汁一菜という質素な食事を常としてきた日本人が、明治以降、特に戦後、食生活が欧米化され、動物性タンパク質を摂るようになったために増えた病気です。

症状は、ある日突然、足の親指の付け根の関節が赤く腫れて痛み始めます。その痛みは激烈で、2、3日はまったく歩けなくなるほどです。症状は発作的に起こり、1週間から10日ほどで治まります。しかし、半年後くらいに再度痛みに襲われます。この周期を繰り返しているうちに、足首や膝の関節まで腫れ始め、発作の間隔が次第に短くなっていきます。そうなるとうる関節の症状だけではなく、腎臓な

どの内臓が侵されるようになります。

痛風の原因である尿酸は、人の体のなかに一定量あり、血液などの体液に溶けて循環し、尿として捨てられます。ところがなんらかの原因で血液中の尿酸濃度が上がり、飽和状態を超えると、体内に蓄積されます。溶けなくなった尿酸はナトリウムと塩を作り、結晶になります。結晶は関節の内面に沈着していきます。痛風発作は、この尿酸塩に対して体内の白血球が防御機能を発揮して攻撃するときに起こるのです。さらに尿酸塩は他の臓器、とくに腎臓に溜まりやすく腎疾患に注意が必要です。また心筋梗塞、脳血管障害などの

◆丹羽先生診察ご希望の方は御紹介、御予約いたします。

※自由診療となります。

丹羽メディカル研究所

☎0120(731)175

もしくは

日本SOD研究会

☎03(5787)3498

まで お電話ください。



生活習慣病を合併する可能性も高いのです。

尿酸というのは、炭素、酸素、水素の分子からできた化学物質で、プリン体と呼ばれる物質のひとつです。尿酸はこのプリン体の老廃物であって、プリン体のゴミ処理問題がうまくいかないと痛風にな

るわけです。

そこでSODです。効果があるかどうかという質問をいただいています。質問を下さった方は、大豆、豆腐などの豆類を食べてはいけな

いと医者から言われたそうですが、SODの成分に豆類が入っているけれど大丈夫なのでしょうか。「痛風に関しては、SODが効かない人がまれにいます。その見極めは飲んでみないと分からないのですが、最低でも1日に4包以上飲んでみてください。痛風というのは足の先の関節が痛くなるのですが、痛くなくて尿酸値が高い人は医者の薬を飲まないこと。SODを飲むように。痛んだ場合は医者の薬とSODを併用すること。大事なのは食事。肉類はダメですね。なかでも特に豚肉。痛風にはこれがいちばんいけない。あと、豆類は大丈夫。昔は豆類に含まれるイソフラボンがいけないといっていたが、今は違う。大豆類は痛風にまったく関係のないことが分かっ

ています。とにかく、SODをちゃんと飲んで、肉類を控えることです。さらに豚肉は絶対に口にしないこと。だいたい痛風になるのは、肥満と肉好き。あと、プリン体を多く含んだビールなどのアルコールも良くない。焼酎、ウイスキー、ブランデーなどにはプリン体が含まれていませんが、アルコールが代謝されるときに尿酸値が上がるので飲みすぎには注意が必要です」

.....

最後は、手足に痛みやしびれがあり頸椎性脊髄症の手術をされた72歳の方からですが、術後、足は良くなったけれど、手の症状はまったく良くならないとおっしゃいます。

頸椎は、加齢と共に椎間板が弾力を失ってクッションの役割ができなくなります。そうすると頸骨同士がこすれあって変形したり、骨の並びがずれたりします。このように頸椎に年齢的な変化が起こることを頸椎症といい、多かれ少

なかれ年とともに誰にでも起こることです。これは病気ではありません。ただ、この頸椎症のために脊髄や神経が圧迫され、手のしびれや、足のしびれ、あるいは手足が動かしにくいなどの症状が出てきた状態を、頸椎症性脊髄症あるいは頸椎症性神経根症といいます。手術をすることはまれで、ほとんどが内服薬と針、マッサージ、整体などで緩和治療をします。

「手術をしてしまったんですね。これはダメだ。頸椎症性脊髄症は手術をしてはいけません。手術をしないで整体とSODを飲むのがいちばんなんです。手術をしてしまつてからのSODは患部には効かないでしょうね。ただ、SOD自体は活性酸素を強力に除去する抗酸化食品ですから、飲み続けたほうがいいでしょうね」

ということ、お手紙を下さった方には残念なのですが、この症状で悩んでいらっしゃる方の参考になればと思います。

SOD愛飲者
インタビュー

70歳になって突然発症のアトピー、喘息、花粉症

SODに救われた

兵庫県 山口良子さん(77歳)

関西で美容師をされていた山口さん。77歳の今はさすがに引退されましたが、70歳までは現役でばりばり働いていました。

春先のある日、それは突然やってきたのです。

「急に、鼻水が出て、目がシバシバするんです。そして咳。おかしいなあと。最初は風邪でもひいたかなと思っていました。でも、熱はないから初期症状だと思って暖かくして早寝したりしていたのですが、一向に良くならないんですわ。それどころかひどくなる」

そのうちに鼻水、鼻づまり、咳き込むことが増え、夜に眠れなくなったのでした。不眠は瞬く間に健康を害します。山口さんも、咳で上半身が収縮して肩が凝り、頭

痛や食欲不振などが次々と襲い、とにかく毎日が憂鬱でした。

「そうしたら今度は肘や首周りが痒くなって、掻いているうちにガサガサになったんです。薬局で咳止めやら、漢方みたいなのをいろいろ買っては飲んでみたんですけど、ぜんぜん良くなりません。もう、わけがわからなくなりました」

話をうかがってみると、山口さんの症状はアトピー、喘息、花粉症が合併したものと推測できるのですが、なにせ70歳での発症ですから、わけが分からないというのが本場のところでしょう。

「病院？ ええ、薬局の薬ではらちがあかないし、子供たちも病院に行けというので行きました。そうしたら、花粉症だと。私ら、そん

な病気のことなど知らなかったものですから、マスクをすることもしてなかったんです。えらい流行っているんですね。聞いたら周りにも同じような人がいっぱいいて、年寄りだけではなく、若い人も多いというから、大変ですよ。私の場合、それだけでなく、アトピーと喘息もあると言われてびっくりでした。咳が治らないはずですわ。さっそく点滴してもらいました」

そうして両手いっぱい的大量の薬を処方された山口さん。いったいどれがどの薬かなど分かるはず

もなく、とにかく言われたとおり
に飲んでいたそうです。点滴も2
週間、毎日続けたそうです。

「そうしたら、咳なんかは少し治
まったんですが、今度はなんか胸
が苦しいんです。車酔いみたいに
胸がムカムカして、食べ物もまっ
たく食べたくなくなって、これは
おかしいと。病院の薬が良くない
んじゃないかと思って、すぐに病
院に行って先生にどの薬がいけ
いのか聞いたんです。でも、先生
もわからないっていうんですわ。
いい先生で、一生懸命に診てくれ
るんですよ。でも、治らないとい
うか悪くなって、困りました」

薬は化学薬品ですから、処方さ
れる種類が増えれば増えるほど複
雑な化学反応を示し、副作用を併
発する可能性があります。当然、
点滴にはステロイドが処方されて
いたはずですが、どれがいけないの
か先生にわからないのも当然かも
しれません。

「こんなに調子悪くなる薬なんか、



いいはずないと思っただんですね。そのときに、丹羽先生のことを思い出したんです」

というのは、山口さん、発症してから丹羽先生の講演を聞いていたのです。丹羽先生は当時も今も、土佐清水病院を本拠地に毎月、全国9箇所の診療所を回って診察をしています。それと平行して、大学の特別講義や各地の講演会で講演をしています。山口さんがたまに聞いた講演はそんななかのひとつでした。

「なんでも、副作用のない薬を研究していて、アトピーやがんなんかを治している偉い先生が話しに来てくれるというんで行ったんです。そのときに聞いた話を思い出したんです。細かい内容までは覚えていなかったんですが、なんか妙に先生のことは覚えていたんです。信じられるというか、本物だというか。でも、当時、私は病院の先生からもらっている薬を飲んでいましたから、すぐにSODのこと

には頭が回らなかったですね」

でも山口さんは、そのときにもらったSODのパンフレットのことを思い出したのです。

「そこに書いてあった電話番号に電話して、とにかく1箱送ってもらったんです」



1年半前、2009年10月のことでした。発症してから実に5年もの間、悩み苦しんだのです。

「1日に4包ずつ飲み始めて半月くらいしたら、咳がずいぶんラクになっていくことに気づいたんです。特に昼間。夜は少し出ますが、以前に比べたらラクで、なによりも

夜、ぐっすり眠れるようになったんです。そうしたら食欲も出るわ、肩こりはなくなるわ、おまけに便秘まで治って、いいことづくめでびっくりしました。病院でいただいた薬はそのときにやめました。以来、一切飲んでいません」

以来、山口さんにとってSODはなくてはならないものになりました。

「きのうも神戸に遊びに行ってきたんです。ゴールデンウィーク中でのすごい人でしたけど、SODを飲んで行ったからまったく疲れなかったですね。以前は人ごみのなかに1時間以上いるとものすごい

く疲れて、旅行も億劫になっていたんですけど、SODのおかげで若返りました。バッグにも必ず入れているんですよ。何かのときにこれさえ飲めば大丈夫だと思うから。私にとって安心の1包です。先生たちにはほんとうに感謝しております」

77歳で人ごみのなか観光されるなんて、どれだけ若返られたのでしょうか。『安心の1包』とは名言です。ありがとうございました。



SOD様作用食品 体験者の声をお聞かせ下さい。

難病で苦しむ方たちが、少しでも早く良い治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒154-0012 東京都 世田谷区
駒沢 5-13-1-205

日本SOD研究会 藤沢宛

TEL 03-5787-3498

までご一報ください。